

# 「Google Scholar 活用法」講習会テキスト

## ■講習内容

- ◆Google Scholar へのアクセス、Scholar 設定の方法
  - ◆Google Scholar の検索のコツ
  - ◆Google Scholar の検索結果画面の見方
  - ◆その他の文献データベースの紹介(Google Scholar との違い)
- 他のデータベースも GACoS から利用可能!

## ◆Google Scholar とは

「Google Scholar では、学術専門誌、論文、書籍、要約など、さまざまな分野の学術資料を検索できます。検索できる記事には、多岐にわたる学術出版物や学会論文のほか、ウェブ上で閲覧可能な学術資料も含まれます。」(Google Scholar 画面で「Google Scholar について」>「Google Scholar ヘルプ」)



※ここに注意！Google Scholar だけで検索していると・・・

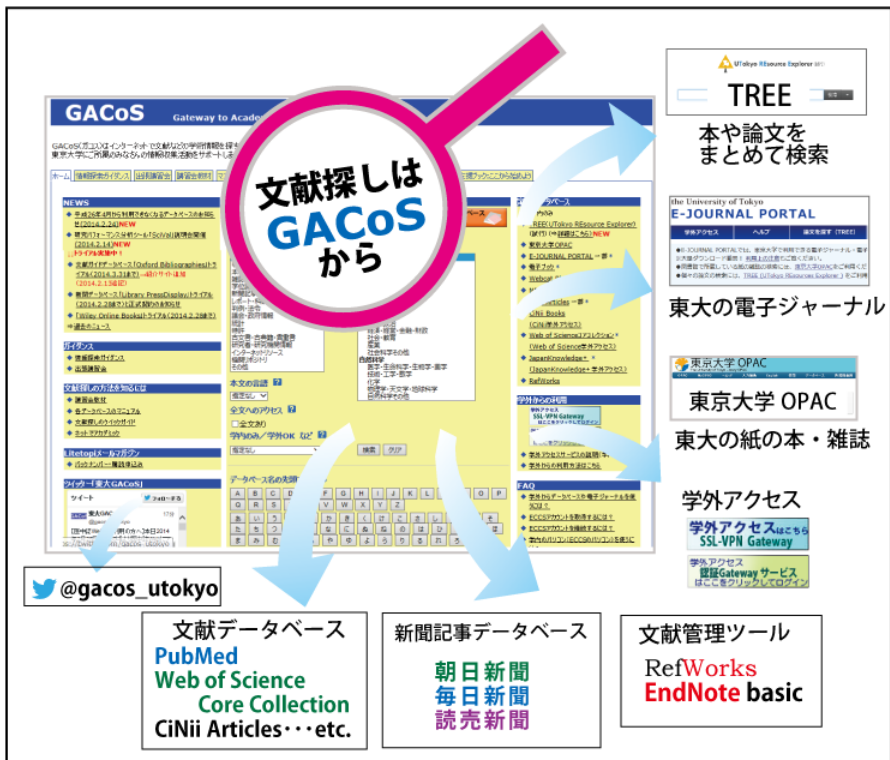
実は大学が契約している文献データベースで入手できる論文等の情報が、Google Scholar の検索対象になっていないために、見落としていたり、入手できないと思ってあきらめている可能性があるかもしれません。

そんな時は「TREE」  
詳細は GACoS から

## 【参考】東京大学で利用できるデータベースの入口

**GACoS(ガコス)** 【学内・学外 OK】⇒<http://www.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/gacos/index.html>  
※TREE 画面上部にもリンクがあります。

GACoS からは、研究分野(主題)や統計などの使いたい資料タイプによって、自分にあった他のデータベースを探ることができます。



この資料に関するお問合せ: 東京大学 本部情報基盤課 [学術情報リテラシー担当]  
TEL: 03-5841-2649(内線:22649) メール: [literacy@lib.u-tokyo.ac.jp](mailto:literacy@lib.u-tokyo.ac.jp)

## Google Scholar へのアクセス、Scholar 設定の方法

### ◆Google Scholar へのアクセス

【学内・学外 OK】 GACoS データベース名の先頭文字「G」から ⇒<http://scholar.google.co.jp/>

※学外からも、下記の Scholar 設定を有効に使うには？

[SSL-VPN Gateway サービス](http://www.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/gacos/faq/gakugai.html) or [認証 GW サービス](http://www.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/gacos/faq/gakugai.html)⇒<http://www.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/gacos/faq/gakugai.html>

### ◆Scholar 設定

【検索結果に RefWorks へのリンクを表示させる】 ⇒下記①～③の手順

【検索結果に UTokyo Article Link へのリンクを表示させる】 ⇒下記①, ④～⑦の手順



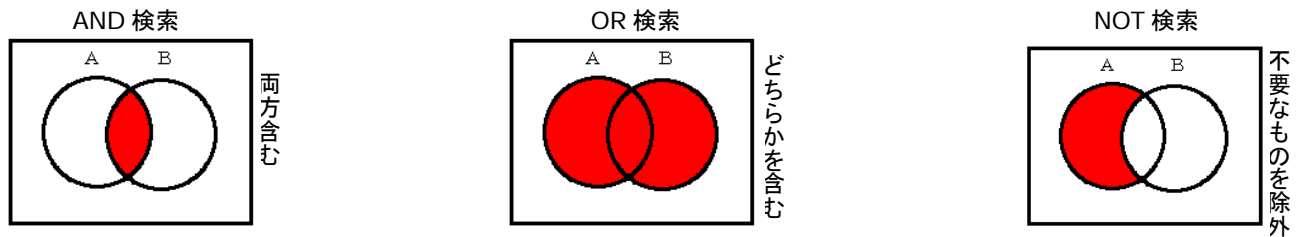
※RefWorks とは？ ⇒GACoS FAQ「RefWorks を使うには？」

<http://www.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/gacos/faq/refw.html>

※UTokyo Article Link とは？ ⇒GACoS 講習会教材「UTokyo Article Link」の使い方

[http://www.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/manual/basicguide\\_articlelink.pdf](http://www.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/manual/basicguide_articlelink.pdf)

## Google Scholar の検索のコツ



**入力例** ※原則として、記号は半角で入力。OR は半角大文字で入力。

- AND 検索 `ips cells`

キーワードの間にスペースを入れる。
- フレーズ検索 `"ips cells"`

“ ” の有無で検索結果がどのように変わるか見比べる。

OR で検索漏れを防ぎ、検索の幅を広げる効果あり。OR の前後にはスペースを入れる。
- OR 検索 `"ips cells" OR ipscs OR "induced pluripotent stem cells"`
- NOT 検索 `"ips cells" -yamanaka`

マイナス記号の後ろにはスペースを入れない。



※分野ごとの文献データベースでは、専門家が論文の内容に合った主題キーワードを付けているので、単なるキーワード検索ではなく、論文に書かれている内容の主題でも探せるようになっている。(⇒p.6 で分野ごとのデータベースを紹介)

たとえば、PubMed(世界最大の医学系文献データベース)では、入力したキーワードだけでなく、PubMed で用意されている用語集の中に対応する主題キーワードがあれば、それも含めて自動的に OR 検索される。(p.6 参照)

Google Scholar では、自分で "induced pluripotent stem cells" のような同義語との OR 検索を入力する必要がある。

### 著者検索

著者:yamanaka  
著者:"s yamanaka"  
著者:"shinya yamanaka"

:の記号の後ろにはスペースを入れない。  
フルネームよりイニシャルの方が検索漏れを防げる。

### 論文タイトル検索

intitle:"ips cells"

論文タイトルを知っていれば、タイトル全体をフレーズ検索にするのが早い。

intitle:"Induction of pluripotent stem cells from mouse embryonic and adult fibroblast cultures by defined factors"  
(山中伸弥氏のノーベル生理学・医学賞受賞のもととなった論文)

※複数の著者名や複数の論文タイトル(内の言葉)の組み合わせで検索する時は、著者名や論文タイトル内の言葉ひとつひとつの前に「著者:」「intitle:」をつける。

例: 著者:"s yamanaka" OR 著者:"k takahashi"

※キーワードと著者名などを組み合わせて複雑な検索を行う時は、検索がうまく行われな場合があるので注意。

例: "ips cells" -著者:yamanaka ⇒検索結果 約 17,800 件 (2014年5月現在)  
"ips cells" -著者:"s yamanaka" ⇒検索結果 約 17,700 件  
"ips cells" -著者:"shinya yamanaka" ⇒検索結果 約 17,800 件



## 【Scholar 検索オプション画面】

※検索オプション画面で、出版物名の指定や日付の指定などができるようになっていますが、不完全または正確でない場合があるため、検索オプション画面の利用はあまりおすすめしません。

ただし、日付の指定は検索結果の絞り込みからも可能ですが、出版物名の指定は原則としてオプション画面のみです。



## 【その他のオプションサービス】



※同じ検索式を毎回入力する手間を省きたい方へ

### 【メールアラート機能】(指定した検索式で最新の論文が出たらメールで教えてもらう)

\* Google アカウントを持っていなくても利用可能。

- 1) アラートを受け取りたい検索式を入力して検索。
- 2) 検索結果画面で、「アラートを作成」アイコンをクリック。(p.4 参照)⇒
- 3) アラートを受け取りたいメールアドレスを入力。
- 4) ランダムに表示される文字を入力。
- 5) 確認メールが届くので、メール内のリンクをクリックしてリクエストを確認すると完了。
- 6) 登録した検索式での最新論文が出るとメールが届く。

✉ アラートを作成



※「この論文が新たに引用されたら、アラートを受け取りたい」という場合は？

⇒その論文を検索して検索結果画面に表示させ、タイトル下方にある「引用元の数字」をクリック後の画面で、「アラートを作成」をクリック。  
(以降の操作は上記と同じ。) ✉ アラートを作成

あるいは、Web of Science コアコレクション (p.6 参照) の収録論文であれば、Web of Science コアコレクションの「引用アラート」サービスがおすすめ。

⇒Web of Science コアコレクションを検索して論文タイトルをクリックし、詳細画面右側の「引用アラートの作成」をクリック。※Web of Science のユーザ登録が必要。(詳細は Web of Science コアコレクション画面で「ヘルプ」参照)



### 【タグ(ラベル)を付けて整理、保存できる機能:「マイライブラリ」】

\* Google アカウントが必要。

- 1) Google アカウントでログインする。
- 2) 検索結果画面で、保存したい論文のタイトル下方にある「保存」をクリックするとマイライブラリに保存される。
- 3) 画面左側の「マイライブラリ」をクリックすると保存した論文の一覧が表示される。
- 4) 論文整理用のタグは、マイライブラリ画面で左側の「ラベルを管理」をクリックしてから、「新しいラベルの作成」をクリック。タグの編集(ラベル名変更)も「ラベルを管理」画面から行うことができる。
- 5) 保存した論文にタグを付けるには、マイライブラリ画面で論文タイトルをクリック後の画面上部「ラベル ▼」からラベルを選択、または新しいラベルを作成する。マイライブラリからの論文削除も同様の手順で行う。

## その他の文献データベースの紹介

★いずれも、検索結果から UTokyo Article Link が使えます (PubMed は東大専用入口であれば可能)。

### Web of Science コアコレクション 【英語論文】 (全分野)

【学内から】GACoS「**定番データベース**」から ⇒<http://www.webofknowledge.com/wos>

【学外から】SSL-VPN Gateway サービス (要 ECCS アカウント) or 認証 GW サービス (要 事務システム共通アカウント)  
⇒<http://www.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/gacos/faq/gakugai.html>

【内容】厳選された世界の主要な学術雑誌の掲載論文を収録。論文の被引用数など引用関係の情報が充実しており、「ある論文を引用した論文」や、「ある論文と引用文献が共通している別の論文」を探することができる。

### PubMed (医学系分野) 【英語論文】

【学内から】GACoS データベース名の先頭文字「P」から

⇒<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/sites/entrez?otool=ijputmlib>【東大専用入口】

【学外から】(無料公開)<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/sites/entrez>

(東大専用入口)SSL-VPN Gateway サービス (要 ECCS アカウント) or 認証 GW サービス (要 事務システム共通アカウント) ⇒<http://www.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/gacos/faq/gakugai.html>

【内容】世界最大の医学系文献データベース MEDLINE の無料公開版。

### CiNii Articles (全分野) 【日本語論文】

【学内から】GACoS「**定番データベース**」から ⇒<http://ci.nii.ac.jp/>

【学外から】SSL-VPN Gateway サービス (要 ECCS アカウント) or 認証 GW サービス (要 事務システム共通アカウント)  
または CiNii Articles に直接アクセスして「**サイトライセンス個人 ID**」で利用

⇒<http://www.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/gacos/faq/gakugai.html>

【内容】日本国内で発行された学術論文、学協会誌、大学の研究紀要を中心とした論文情報データベース。無料公開されている部分もあるが、上記の【学内から】または【学外から】のアクセス方法であれば、全文を見られる範囲が広がる。

その他、GACoS (p.1) から**主題**や**資料タイプ**などで探してご利用ください。

(例) ・経済学/経営学: Business Source Complete, eol    ・心理学: PsycINFO    ・教育学: ERIC  
・工学: Engineering Village    ・化学: SciFinder    ・海外新聞/ニュース: LexisNexis Academic  
・統計データ: OECD iLibrary    など



### 【Google Scholar と他のデータベースの違い】

#### ・検索支援機能の違い (絞り込み機能や、論文の主題キーワードの付与など)

(例) PubMed では、 で検索すると、自動的に以下のような検索式が実行される。(p.3 参照)

"induced pluripotent stem cells"[MeSH Terms] OR ("induced"[All Fields] AND "pluripotent"[All Fields] AND "stem"[All Fields] AND "cells"[All Fields])  
OR "induced pluripotent stem cells"[All Fields] OR ("ips"[All Fields] AND "cells"[All Fields]) OR "ips cells"[All Fields]

#### ・被引用数の違い (数字は 2014 年 3 月 28 日現在のもの)

(例) "Induction of pluripotent stem cells from mouse embryonic and adult fibroblast cultures by defined factors"

(山中伸弥氏のノーベル生理学・医学賞受賞のもととなった論文)

⇒Google Scholar では「引用元 9,511」

⇒Web of Science コアコレクションでは「被引用数: 5,896」

※Web of Science コアコレクションは厳選された主要学術雑誌の掲載論文を収録

#### ・検索対象の違い

(例) Google Scholar は全文まで検索する。(Web of Science コアコレクション、PubMed、CiNii Articles は抄録まで検索。)

⇒デメリット: ノイズが多い。

⇒メリット: 入力したキーワードが本文にしか出てこない場合でもヒットする。

#### ・RefWorks への取り込み方法の違い

⇒Google Scholar では1件ずつ取り込む作業が必要。

⇒Web of Science コアコレクション、PubMed、CiNii Articles では複数まとめて RefWorks へ取り込める。